

# 標準化教育 「絵文字はかせになろう」 教材開発について



## 日本規格協会と知財

### 一般財団法人日本規格協会

- ・ 1945年に設立
- ・ 標準化の開発・普及・啓蒙活動

※ 標準化の領域は年々広がっている → 知財との関わり

- ・ 『知的財産推進計画』の柱の一つである「知財・標準化戦略の一体的推進」の方針に基づき、規格開発エキスパート資格登録制度を立ち上げ、知的財産に関する知識素養を持った標準化人材を育成
- ・ 標準化と知財の関わりを学習できるツールである「マンガ」を開発

→ 知財創造教育推進コンソーシアムへの参画

## 標準化教育 出前授業

経済産業省と日本規格協会は、  
2006年度から全国の小学生（高学年）、中学生、高校生・高等専門学校生を  
対象に講師を派遣した出前授業を実施

### 講義内容

- ・身のまわりにある標準化
- ・社会に役立つ標準
- ・標準の役割と重要性など

→ 標準化のわかりやすい例として、特に「互換性」や「品質の確保」、  
「安全・安心の確保」などにフォーカス

## 低年齢層向け標準化教材開発委員会

### 2017年12月 委員会の設立

- ・ 小学校低学年や中学年への標準化教育を検討  
(従来の標準化教材は小学校高学年以上を対象)
- ・ **知財教育**との関わりを視野に入れて検討
- ・ 知財創造教育推進コンソーシアム検討委員会メンバーを委員に

### 計6回のWGにおける検討の結果、**ピクトグラム (絵文字)** に **フォーカス**した教材開発を提案

- ・ 国語科「くらしと絵文字」(教育出版3年下)を受け、総合学習での授業実施を想定
- ・ 児童が説明を聞くだけでなく、能動的に学べる内容を重視

## 絵文字はかせになろう

### 2018年10月18日 第2回低年齢層向け標準化教材開発委員会の開催

- ・ WGの検討結果を承認
- ・ 教材「絵文字はかせになろう」の作成に着手

### 「絵文字はかせになろう」から学習できること

- ・ どんな問題が起きているかを考える
  - **課題発見の力**
- ・ 自ら絵文字をデザイン
  - **誰にでもわかるように表現する力**
- ・ グループで話し合い一つの絵文字にする
  - **様々な人の視点で考える力、合意形成する力**

## 知財創造教育

「絵文字はかせになろう」は、  
一連の標準化活動（前述の課題発見から合意形成まで）を模擬体験  
することで、知財創造教育が目指す以下の点にも対応

- ・ **新しい創造をする**
- ・ **創造されたものを尊重する（他人との違いを認め尊重する）**

## 台東区立上野小学校様での授業

教材開発に加え、当会からゲスト講師として職員を派遣

**標準化活動や規格作りの現場を知る者が、学校の先生と協力しながら、児童の皆さんのピクトグラムづくりをサポート**

ゲスト講師

蛭間 功

一般財団法人日本規格協会 規格開発センター

新市場創造型標準化支援課長

ISO 7001、JIS Z 8210（いずれも図記号の規格）の開発に関与



## 今後の展開

現在、3パターンの教材を開発中

A：教材配布型

B：出前授業型

C：学校オーダーメイド型

2019年4月ごろより、当協会のHPにて、詳細を掲載予定

<https://www.jsa.or.jp/>

2019年度内に全国で上記のBまたはCの授業を10校程度で実施（目標）



**ご清聴ありがとうございました**

**お問い合わせ**

一般財団法人日本規格協会  
マーケティングユニット  
経営企画・広報チーム

[po@jsa.or.jp](mailto:po@jsa.or.jp)